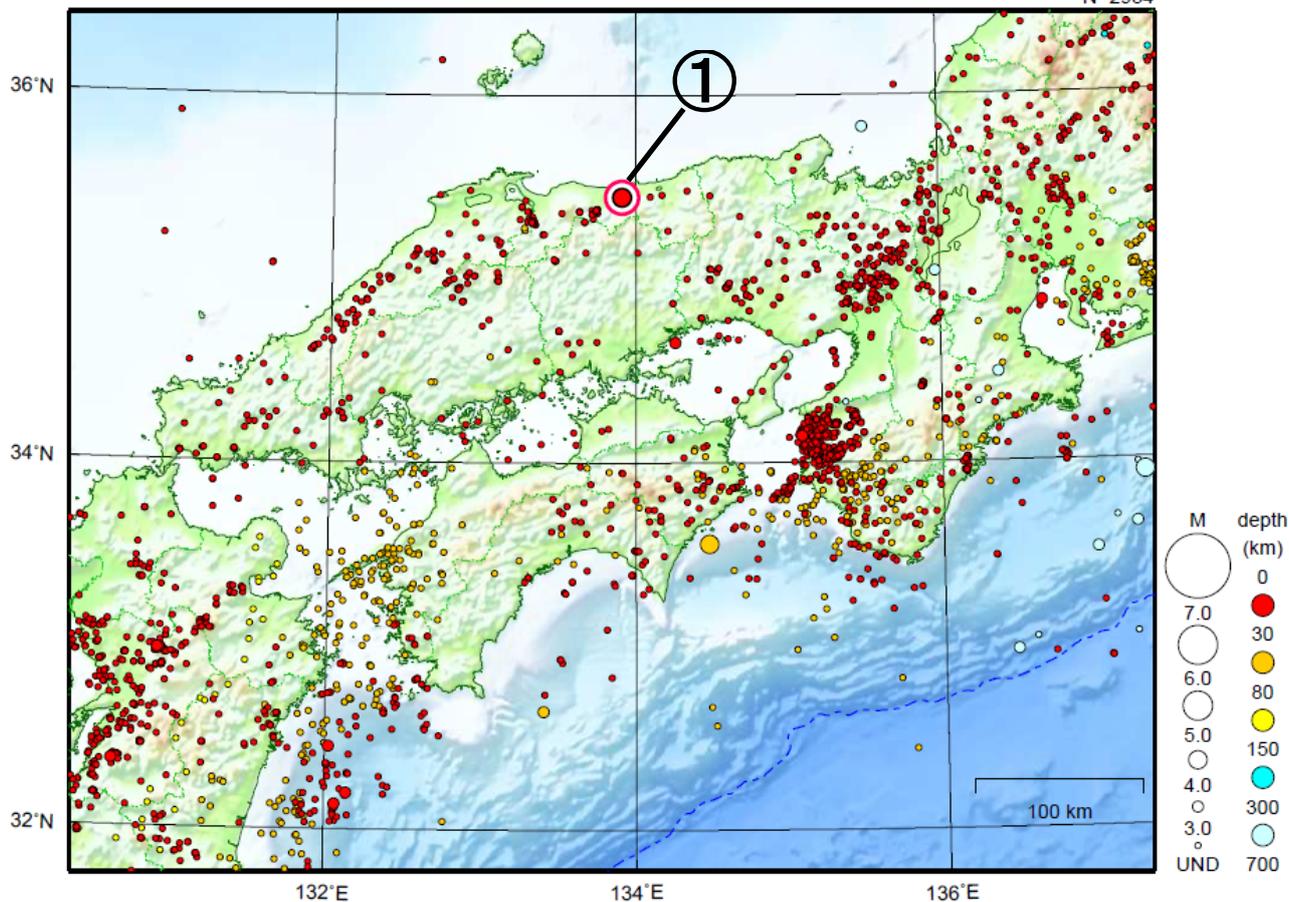


# 近畿・中国・四国地方

2015/12/01 00:00 ~ 2015/12/31 24:00

N=2934



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

① 12月14日に鳥取県中部でM4.2の地震（最大震度4）が発生した。

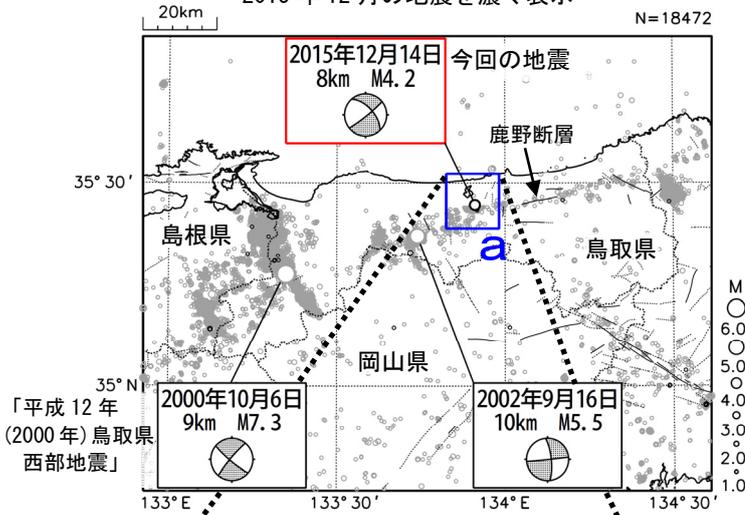
[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

# 12月14日 鳥取県中部の地震

震央分布図

(2000年10月1日~2015年12月31日、  
深さ0~20km、M $\geq$ 1.0)

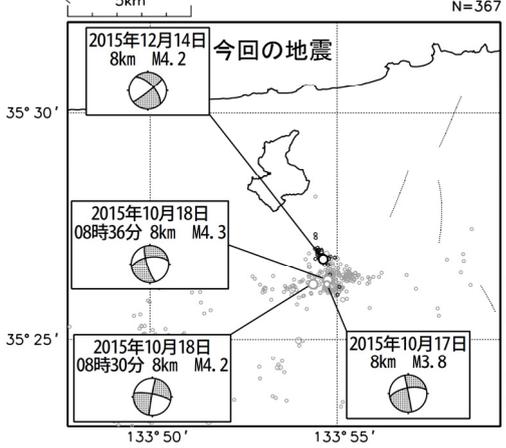
2015年12月の地震を濃く表示



2015年12月14日15時01分に鳥取県中部の深さ8kmでM4.2の地震(最大震度4)が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の発震機構は東西方向に圧力軸をもつ横ずれ断層型である。今回の地震が発生した領域(領域a)では、2015年10月15日からまとまった地震活動が見られ、12月31日までに最大震度1以上を観測する地震が32回(最大震度4:4回、最大震度3:2回、最大震度2:7回、最大震度1:19回)発生している。

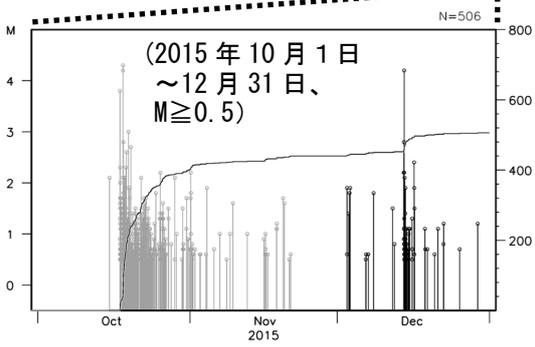
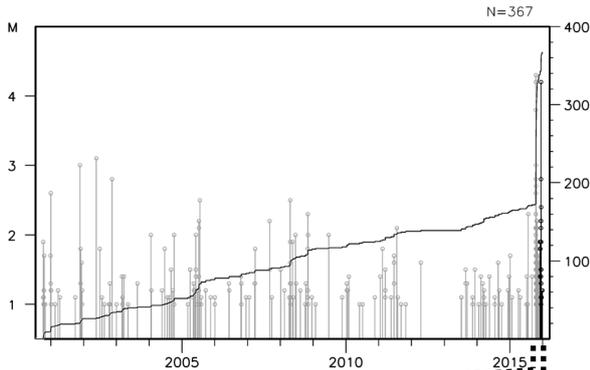
2000年10月以降の活動を見ると、領域aでは、M2.0以上の地震が年に数回程度発生している。今回の地震の震央から西南西に約20km離れたところで、2002年9月16日にM5.5の地震(最大震度4)が発生し、住家一部破損8棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の活動領域の周辺(領域b)では、1943年9月10日にM7.2の地震(鳥取地震)が発生しており、死者1,083人、重軽傷者3,259人などの被害が生じた。また、今回の地震活動の数km南方で1983年10月31日にM6.2の地震が発生し、負傷者10人、鉄筋コンクリート3階建建物の柱の剪断破壊などの被害が生じた(被害はいずれも「日本被害地震総覧」による)。



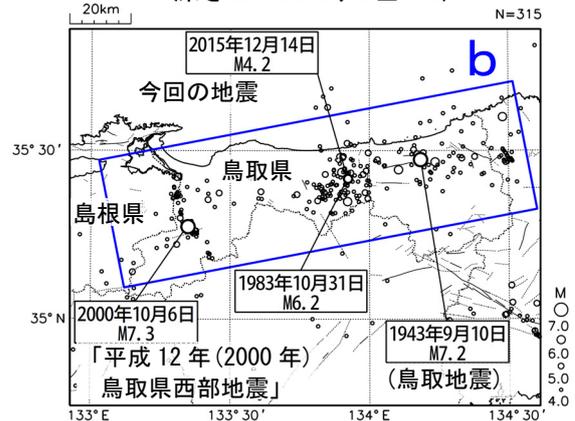
図中の細線は「新編日本の活断層」による活断層を示す

領域a内のM-T図及び回数積算図



震央分布図

(1923年1月1日~2015年12月31日、  
深さ0~50km、M $\geq$ 4.0)



図中の細線は「新編日本の活断層」による活断層を示す

領域b内のM-T図

